

# わこう 市議会 だより

No.  
119

2023年2月1日発行

編集 和光市議会 議会運営委員会  
TEL 048-424-9108(議会事務局直通)

今号は、令和4年第2回臨時会及び  
12月定例会のあらましをお知らせします

令和4年第2回臨時会は10月28日(金)に開催され、市長提出議案1件について審議しました。12月定例会は11月24日(木)から12月13日(火)までの20日間開催され、市長提出議案18件、議員提出議案1件、陳情3件について審議しました。

## 議会報告会を開催

令和4年11月5日(土)に、和光市役所議事堂1階で議会報告会を開催し、22名の方にご参加いただきました。

当日は、総務環境常任委員会副委員長及び文教厚生常任委員会委員長から、9月定例会で委員会に付託された議案のうち、主に一般会計・特別会計の決算審査について報告しました。

また、報告会の後に、市政全般について参加者の皆さんと意見交換会を行い、ご意見・ご感想を直接お聞きすることができました。市議会として、皆様からのご意見を真摯に受け止め、今後の活動につなげていきます。



### YouTubeで配信中

議会報告会で皆さんに説明した内容について、議員が動画を作成しました。YouTubeで配信していますので、ぜひ、ご覧ください。



## 第2回臨時会の報告 和光市のこんなことが決まりました

■議案第67号 令和4年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第7号)  
【原案可決】

### 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を支給

物価高騰に対する国の追加策として、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金を支給するための経費を計上。

### 小中学校の学校給食費を補助

エネルギー・食料品価格等の物価高騰に伴う保護者の負担軽減のため、小中学校における給食費を補助するための経費を計上。

以上の案を含む補正予算案を、原案のとおり可決しました。



## 見る 知る 学ぶ 常任委員会が 3年ぶりに行政視察を実施

### 総務環境常任委員会(新潟県燕市・三条市)

令和4年10月24日(月)・25日(火)

#### 燕市 空き家対策について

平成28年12月に策定した「燕市空き家等対策計画」に基づき、解体費・改修費・家財道具などの処分費の助成や、オンラインでも参加できる空き家総合相談会や空き家セミナーなどを開催。新潟大学に委託し、空き家活用案の検討、結果検証を商工会、民間事業者、地元自治会と連携して実施している。地域のニーズを把握し、地元の住民たちの協力を得ながら空き家の利用率向上につなげる事例は参考になりました。



総務環境常任委員会視察(燕市)

#### 三条市 デマンド交通について

効率的な公共交通体系を目指し、事業特性により、タクシー(通常のタクシー・デマンドタクシー)、バス(路線バス・循環バス)、地域コミュニティバスを利用したデマンド交通を展開。平成28年から複数人の乗車促進の取組を実施。複数人乗車の整理、事業者の事務負担軽減という課題解決のため乗合アプリの導入、シェアサイクル、公用車EVカーシェアを活用したMaaSの導入を検討している。AIデマンド交通システムやMaaSアプリの導入について考える機会となりました。



総務環境常任委員会視察(三条市)

### 文教厚生常任委員会(岡山県総社市・赤磐市)

令和4年10月3日(月)・4日(火)

#### 総社市 障がい者千五百人雇用について

障害者の雇用を最優先課題とし、平成23年4月にハローワーク、企業関係者などで組織する「障がい者千人雇用委員会」を設置し、課題を抽出。障害者の就労支援により、生きがいを感じ、安心して暮らせる地域社会の実現を目指している。「障がい者千五百人雇用センター」は、登録者と就労先のマッチングから生活までマンツーマンでサポートし、就労先へのアフターケアも行っている。障害者が働く事業所としてマスク製作所及びガソリンスタンドを見学。障害者のライフステージを一貫して支援する取組は参考になりました。



文教厚生常任委員会視察(総社市)

#### 赤磐市 複合型介護福祉施設事業について

平成31年4月にオープンした、複合型介護福祉施設「あかいわハートフル太陽」で、小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、入浴通所サービス施設を見学。自宅で安心して暮らせる住宅支援の充実を基本方針とし、介護予防の活動や、地域の若いファミリー世代と交流できるように設計された。市は住民と協議を重ね、市民ニーズをくみ上げ、事業内容の検討に時間をかけた。対話型公募とし、運営事業者の意見を設計に反映させた。世代を超えて、地域に開かれた介護福祉拠点について見識を深めました。



文教厚生常任委員会視察(赤磐市)

各議員の行政視察報告書は市議会ホームページに公開しています。また、会議録でもご覧になれます。会議録は、市議会ホームページ、図書館(本館・分館)、公民館(中央・南・坂下)、市役所3階行政資料コーナーで公開しています。

## 12月定例会の主な議案 和光市のこんなことが決まりました

■議案第69号 和光市個人情報保護法施行条例を定めることについて  
【原案可決】

### 地方公共団体の個人情報保護制度について全国的な共通ルールを適用

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い、民間・行政機関・独立行政法人等の個人情報保護法が一本化され、地方公共団体の個人情報保護制度についても、全国的な共通ルールが適用されることになりました。

また、和光市議会においても、引き続き個人情報保護を講じるため、議員提案として「議案第85号 和光市議会の個人情報の保護に関する条例を定めることについて」を提出し、原案のとおり可決しました。

■議案第72号 和光市印鑑条例の一部を改正する条例を定めることについて  
【原案可決】

### 個人番号カードを使いコンビニエンスストア等で印鑑証明書交付を実施

個人番号カード(マイナンバーカード)を利用してコンビニエンスストア等で印鑑登録証明書の交付を実施

するサービスを開始するための条例改正について原案のとおり可決しました。

■議案第74号 和光市職員定数条例の一部を改正することについて  
【原案可決】

### 行政サービスの充実を図るために職員定数を39名増員

新型コロナウイルス感染症対策など行政サービスの充実を図るために必要な業務量が、現行の職員定員管理計画策定期の予想を上回って増加しており、国が推進する働き方改革、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境づくりに取り組む必要もあることから、職員定数を見直すための条例改正について原案のとおり可決しました。

### 陳情

- 陳情第2号 児童生徒におけるマスク着用と黙食に関する陳情【採択】
- 陳情第3号 国道254号バイパスに関する陳情書【採択:賛成9名※】
- 陳情第4号 資産税課税の軽減等に関する陳情書【不採択】

\*各議案・陳情の各議員ごとの賛否については、10ページをご覧ください。

**問 和光高校の跡地利用、中学校建設主体の（仮称）「新倉複合施設」建設プロジェクト案について**



あかまつ ゆうぞう  
**赤松 祐造**（まちづくり市民の会）

質問▶長年の北側市民の願いである中学校建設と坂下公民館などの公共施設等を統合した新しい複合施設建設は駅北側の開発、市の発展につながる好機ですが、取組を伺います。

**企画部長**▶和光高校跡地は県有地で、新倉複合施設建設案は市の北部発展に寄与できる可能性がある構想です。中学校の配置は喫緊の課題であり、適切な時期に教育部局と連携を図り調査研究をしていきたいと思います。

**その他の質問**▶市内循環バス増便、ひきこもり支援施策、障がい者雇用施策、外環側道植栽整備等

**問 広沢複合施設（わぴあ）の運営**



はぎわら けいいち  
**萩原圭一**（和光市民の会）

質問▶全面オープンから約1年が経つので、運営状況を伺います。

**教育部長**▶市民プールの延べ利用者数は約6万4千人で、計画を上回っています。学校利用は1人4～6回です。

**子どもあんしん部長**▶総合児童センターの延べ利用者数は約16万5千人で、旧施設（10～12万人）を上回っており、混雑のため時間制限等をせざるを得ない日もありました。

**企画部長**▶民間温浴施設の延べ利用者数は約37万人で、増加傾向です。市広報・ホームページ・SNS等わぴあの広報、イベントや運営協議会・部会、モニタリング等を行っています。

**問 物価高騰等の対策において、市民一人ひとりに行き届く幅広い支援を**



とりかい まさし  
**鳥飼 雅司**（日本共産党）

質問▶生活必需品の相次ぐ値上げについて、限定的な支援ではなく、一人ひとりに行き渡る幅広い支援を求めるが、今後の施策展開について伺います。

**企画部長**▶すべての市民に配布する商品券事業など、近隣自治体の事例を参考に検討していきます。

**市長**▶一人ひとりの市民の方に届くような支援を考えています。

**その他の質問**▶元職員の不祥事事件について、自動運転サービス事業における歩行者の安全性の確保等

**問 和光スポーツアイランドの利用料金について**



とみざわ かつひろ  
**富澤 勝広**（緑風会）

質問▶サッカー場Aと多目的Bは利用料金が同じです。クレーグラウンドはライン引きや使用後にはグラウンド整備をする必要があり、実質的利用時間に差が生じます。同じ料金である理由をお伺いします。

**教育部長**▶利用開始準備と終了時間時の原状回復に時間がかかることから、利用料金を考慮するよう指定管理者と協議して、利用拡大と利便性の向上に努めています。

**その他の質問**▶交付金、スポーツ推進、来年度予算等

**問 元市職員の不祥事に関する中間報告会の開催を求めて**



こじま ともこ  
**小嶋 智子**（歩みの会）

質問▶不祥事の再発防止にかかる対応方針が示されて1年が経過します。調査特別委員会の最終報告書が出され再発防止に向けた取組の進捗状況も公表されています。市の最終報告は判決後に行なうことを説明するためにも、市民の知る権利を守り、市の説明責任を果たし、信頼回復に努めるためにも、中間報告会を開催することを求めます。

**市長**▶質問に対して今の時点では回答が明確にできないため、裁判の判決をもって最終報告を考えています。

**その他の質問**▶自動運転サービス導入事業、教育行政等

**問 女性目線の避難所運営実現のために男女半々ルールの採用を**



うちやま けいこ  
**内山 恵子**（緑風会）

質問▶避難所運営で発生する様々な問題の解決には女性の目線が必要です。和光市の自主防災組織は未だ女性主体ですが、今後、男女半々ルールを採用していくことについて伺います。

**危機管理監**▶全国的にすぐに男女半々ルールを取り入れることは厳しいが、和光市自治会連合会防犯・防災部会などを活用し、女性の登用の必要性について周知していきます。

**その他の質問**▶自転車利用、地域公共交通

**問 歩きスマホや、ながら運転への交通安全対策について市の取組は**



さいとう まとこと  
**齊藤 誠**（緑風会）

質問▶歩きスマホや、ながら運転により、交通事故に遭わないよう、また起こさないような交通安全対策が必要だと思いますが、市の取組を伺います。

**建設部長**▶歩きスマホについては、歩行者・自転車等の多い箇所等での周知活動に併せて、効果的な広報・啓発活動方法を検討していきます。ながら運転については、道路交通法の違反となることから、警察と連携し、広報・啓発活動を行っていきます。

**その他の質問**▶ICTの活用、農業の変革の推進等

**問 先進自治体の取組を参考にして医療的ケア児や家族への支援を進めることについて**



すがわら みつる  
**菅原 満**（新しい風・希望）

質問▶「居宅訪問型保育」による医療的ケア児支援を行っている自治体がありますが、他自治体の取組を把握し医療的ケア児※1や家族の支援に取り組んではどうか伺います。

**保健福祉部長**▶居宅訪問型保育事業の実現のためには、各種様々な調整が必要となります。まずは、他の先進自治体の実施状況などの情報を収集整理し、実現に向けて着実に取り組んでいきたいと考えています。

**その他の質問**▶保育事業の運営状況確認、学校図書整備、市内循環バスの運行見直し等

**問 デジタル田園都市国家構想交付金の活用を**



いはら ようすけ  
**猪原 陽輔**（新しい風・希望）

質問▶政府は、令和5年度にデジタル田園都市国家構想※2交付金を創設する方針を固めました。デジタルを切り口とした様々な施策が対象となるので、活用することを要望します。

**企画部長**▶当該交付金は様々な分野に活用できるものであり、各所管課において活用できる事業がないか検討を促していきます。今後は、社会情勢を的確に把握し、新たな施策への展開も含め、積極的な活用を検討していきます。

**その他の質問**▶DX、公共交通マップ、産業支援

**問 住宅開発で減少する湧水や斜面林の保全を**



かない のぶお  
**金井 伸夫**（まちづくり市民の会）

質問▶昨今、湧水や斜面林では住宅開発が進められ、貴重な自然環境としての緑地が市から消失しています。今後、斜面林等での開発を規制する措置を講じ、みどりの存続を担保する方策を具体化したらどうでしょうか。

**建設部長**▶良好な居住環境を有する当市では、ある程度、民有の斜面林の開発は避けられないものと考えます。どの斜面林を保全すれば湧水を残せるか調査を重ね、残すべきみどりを保全していきます。

**その他の質問**▶DX推進、長期未着手土地区画整理事業等

※1【医療的ケア児】日常生活を送るために、恒常に人工呼吸器や喀痰吸引等の医療的ケアが不可欠である子どものこと。  
※2【デジタル田園都市国家構想】「暮らし」や「産業」などの領域で、デジタルの力で新たなサービスや共助のビジネスモデルを生み出し、デジタルの恩恵を地域に届けることを目指す。

問 通園バスの置き去り防止について

とみざわ けいじ  
**富澤 啓二**(公明党)

質問▶(1)通園バスの事故防止の取組、(2)安全装置義務化と所在確認義務化、(3)「子どものバス送迎・安全徹底マニュアル」の策定、(4)登園管理システムの導入状況について伺います。

子どもあんしん部長▶(1)安全管理に積極的に取り組んでいます。(2)令和5年4月を目処に義務化される見通しであり、県とも連携しながら対応します。(3)置き去り防止の取組を含め安全管理マニュアルの向上を図ります。(4)ICT登降園管理を導入しており、児童の出欠席連絡管理、バスの運行状況通知システムが構築されています。

その他の質問▶私道管理、公共交通、空き家対策等

問 性的マイノリティの理解促進やSOS発信の学習で、増加している子ども・若者の自殺者ゼロ達成を

いとう たえこ  
**伊藤 妙子**(公明党)

質問▶性的マイノリティの理解を取り入れた地域の見守りゲートキーパー養成講座を実施し、子どもや若者が安心して相談できる居場所づくりが重要ですが、市の考えを伺います。

保健福祉部長▶社会全体の自殺リスクを低下させるため、来年度のヘルスセンター養成講座にゲートキーパー養成を含め、性的マイノリティの方々に対する支援の充実を推進していきたいと思います。

その他の質問▶HPVワクチン9価定期接種化の個別通知、LGBTQ支援、ファミリーシップ制度の周知等

問 障害のある方が選挙で投票するにあたり意思決定支援につながる投票所での応対と理解を

まつなが やすえ  
**松永 靖恵**(やさしい未来の会)

質問▶選挙には様々な投票方法と支援制度がありますが、あらゆる障害のある方が有権者として自分の投票意思を伝え、理解した上で投票所での対応について伺います。

選挙管理委員会事務局長▶意思表示等が難しい方は、事前に書いたメモ、投票したい候補者名と写真の選挙公報や絵カードを提示することでご本人の意思と受止め代理投票で対応し、視覚障害の方へは音声データも市庁舎期日前投票所で聴ける対応をします。

その他の質問▶医療的ケア児支援、児童発達支援センター、循環バス、医師会との連携、高校の統合等

問 国道254号バイパス延伸はルート決定されているのか、そのルートは誰が決めたのか

あんぽともひろ  
**安保 友博**(緑風会)

質問▶延伸のルートは現在の計画で確定しているのでしょうか。この住宅街を貫くルートは想定外ですが、これは誰が決めたのか伺います。

建設部長▶令和2年3月に県が都市計画決定をし、細かい部分までルートは決まっています。市として都内に向けた延伸について県に要望しましたが、ルートは広域幹線道路として県が選定したものです。

その他の質問▶市長の外国への出張、和光北インター東部地区土地区画整理事業、和光版MaaS、人事ローテーション、百条委員会最終報告書に対する市の対応等

## 常任委員会の審査

常任委員会に付託された議案の主な審査内容を報告します。付託とは、本会議における議案の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会に審査を分割して任せることです。

### 総務環境常任委員会

委員長 金井 伸夫

#### 和光市職員定数条例の一部改正について

問 定数条例の改正で職員を増やしても今後組織改正されると配置が変わるが、状況を伺います。

答 組織改正は部課が増えて、部課長の配置が必要になった場合には、改めてお諮ります。

#### 和光市印鑑条例の一部改正について

問 印鑑登録証明書の定義について、改正後の条例に光学画像読取装置の記載を加えることになった経緯を伺います。

答 市役所、出張所等だけでの交付が、コンビニ等の端末機でも発行できるので、改めて条例で明記することになりました。

#### 12月補正予算における街路樹のマネジメント方針策定について

問 専門家等による委員会で街路樹のマネジメント方針を策定するが、進め方を伺います。

答 市内の歩道がある路線を対象に、安全面や歩行者などの課題を踏まえて路線ごとにマネジメント方針を策定することを考えています。

### 文教厚生常任委員会

委員長 熊谷 二郎

#### 一般会計補正予算で医療団体等支援として580万円を増額補正することについて

問 支援金を予算化した意思決定はどのようにされたのかを伺います。

答 医師会から市への何度かのご提言に対するお答えではなく、市としてお役に立てるものをお提案することも姿勢として必要と思い、今回の補正となります。

#### 介護保険特別会計補正予算の保険給付費の増額補正について

問 地域密着型介護予防サービス費が当初の見込み人数より増加のためとあるが、その要因について伺います。

答 当初予算では、1か月当たり14名を見込んでおりましたが、直近の利用状況として月16名の方が利用されていることから増額するものです。増加要因として、コロナがおおむね収束したことから利用者の回復傾向がみられることと、事業所で人員確保ができ、受入れ体制が整ったことによります。

## TOPICS

### 志木市議会議場・一般国道254号バイパス工事箇所とモデル工事箇所を見学[11月7日(月)]

最初に、令和4年7月に完成した新庁舎の志木市議会と議会システムを見学し、志木市議会議長から本会議場の施設や議会システムの概要について説明を受けました。現在、和光市の議会システムは機器の老朽化が進んでおり、更新を控えていることから、大変有意義な見学となりました。

次に、当市に延伸が予定される一般国道254号バイパスについて、第二期整備区間の工事箇所とモデル工事箇所の2か所を見学し、県職員から事業の経緯、整備効果、整備方針、今後の予定などについて説明を受けました。



新しい志木市議会議場



一般国道254号バイパスモデル工事箇所

### ハラスメント防止研修を受講[10月26日(水)]

市が主催した「ハラスメント防止研修(管理職員対象)」を、議員全員が受講しました。研修は、市の管理職員を対象に外部講師を迎えて実施され、パワーハラスメント、セクシャルハラスメント、モラルハラスメントなど、官公庁で問題となったハラスメントについて実践的な事例を含め、その対処法や防止のためのアンガーマネジメント、部下の指導とコミュニケーションなどについて講義を受けました。

### 朝霞地区議長会議員研修会を受講[11月15日(火)]

朝霞市民会館において、災害復興の第一人者で弁護士の岡本正氏を講師に迎え「災害から市民を守る防災の対策の在り方」というテーマで研修会が行われました。防災の知識は情報を得る機会が多いが、実際、発災後のお金とくらしについての情報が大切であること、生活再建のための様々な制度について学び、議員として、市民支援活動として制度について把握することの大切さを改めて考える機会となりました。



朝霞地区議長会議員研修会

